

東京学芸大学調達に関する基本方針

東京学芸大学の運営は、主に国民の税金を原資とする公費及び学生が納付する授業料等から成り立っています。このことから高い倫理観に支えられた責任ある行動を取ることが求められており、不正を排し社会規範、法令、学内規則等を遵守した調達を実現するために本方針を作成しました。

本方針は「コンプライアンス」「取引先選定の公平性」「パートナーシップ」「環境への配慮」「経費節減」について本学が取り組むべき姿勢を明らかにしています。これらの実現のために本学教職員の意識向上に努めて参りますので、取引先の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1. コンプライアンス

東京学芸大学は、社会の一員であることを自覚し、社会規範、法令、学内規則等を遵守した調達を実現することにより、一切の不正な取引を排除します。

2. 取引先選定の公平性

東京学芸大学は、調達に当たっては、透明性及び公平性を確保するため競争によることを原則とし、競争によることができない場合には、本学の規則に基づき厳格に調達の相手方を選定し、恣意的な選定は行いません。

3. パートナーシップ

東京学芸大学は、大学運営のパートナーとして、取引先様との相互理解と信頼関係を構築することに努めます。

4. 環境配慮

東京学芸大学は、調達に際し環境に配慮します。

関係法令

ア) 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律

イ) 国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律

5. 経費節減

東京学芸大学は、調達の効率化などにより経費の節減を図ります。